

2部

フィールド フィールド
現場から現場へ



努力の先にある達成感

通信教育部福祉心理学科卒業生

石井 恵美

1. はじめに

はじめまして。私は、2021年4月に42歳で福祉心理学科へ1年次入学し2025年9月に卒業いたしました。家業の手伝いの傍ら、週3回学習塾で講師をしております。入学当時、長女が高校3年生、長男が小学6年生でした。私の自宅は仙台から1時間ほどの場所にありますが、土日は家業が忙しくスクーリングに行く時間もないため、授業の9割をオンデマンド・スクーリングで受講しました。そのため、学生の方とお話する機会もなく、孤独との戦いの日々でした。私の経験談をお伝えすることで、孤独と戦っている方々のご参考となれば幸いです。

2. 入学動機

私の実家は田舎で電車も一時間に一本しか走っていないような町です。私が高校生だった28年前は、現在よりも都会と田舎の地域格差が大きく学習面においても同様でした。また、携帯電話やインターネットも普及しておらず、大学の情報は分厚い本で調べなければならない時代でした。私が住んでいた田舎町には、塾は1つしかなく通っている子どもは数人でした。当時の私は、心理学を学び子どもをサポートする職業に就きたいと思っていたものの、そのような環境でしたので、大学に進学する子どもは少なく、私の周りも就職が多かったため、私も大学は行かず就職することにしました。その後、結婚し子どもが生まれ、35歳から学習塾で働いている中で、大学を卒業していないことで学歴コンプレックスを抱くように

なっていました。そして、子どもが大きくなり私自身も40歳を越えた頃、「私の人生はこれで良いのだろうか？」と考えるようになりました。また、学習塾でソロバンを教えていると覚えが遅い生徒や様々な悩みを抱えている生徒が多いことを知りました。そのような生徒をサポートするため、高校時代の夢を叶えるため、心理学を学ぼうと決心し通信制大学に入学しました。

3. 入学後

晴れて大学生になった私は期待と嬉しさで胸がいっぱいでした。自分の好きな科目を選択し、オンデマンドで授業を視聴しレポートを書くという作業は、とても新鮮で楽しい日々でした。しかし、2年目になりオンデマンド授業と科目修了試験をこなすのが精一杯で、レポートはどんどんたまっていきました。「あと3年もこの作業を繰り返さなければならないのか」と、心が折れそうになりました。しかし「ここで諦めたら大学卒業の資格は取得できなくなってしまう、夢を諦めるわけにはいかない。」と自分に言い聞かせ、家業の手伝いと家事育児とパートの合間に、気分転換に図書館に行きレポート作業を行いました。図書館に置いていない参考文献は某サイトで購入し、関連するページに付箋を貼り、レポートに使える部分はノートに書き込みました。締切に間に合わないオンデマンド授業は、化粧をしながら視聴し、レポートは早起きして書くなど少しの時間も無駄にせずに勉学に励みました。私は、スクーリングに行くことが出来なかったため、9割の科目（必須科目でスクーリングしかない科目）をオンデマンド授業にしました。そのため、心理学以外の授業も多く履修しなければならず、レポートに苦労した科目もあります。その中のひとつに「歴史を読み解く」という科目があります。課題は平清盛についてでした。私は歴史があまり好きではなかったため、どうやってレポートを書いたら良

いわかりませんでした。そこで、某テレビ局の大河ドラマ「平清盛」を見ることでレポートが書きやすくなるのではないかと思います。その後、参考図書を読んでも、俳優さんの顔が浮かんできて本の内容もすんなり頭に入り、レポートも悩むことなく書き終えることが出来ました。

4. 卒業研究

4年生になり、あと半年で卒業という時期、卒業研究に取り組むべきか迷っていました。卒業研究に取り組まなければ4年で卒業できるが、取り組む場合は卒業を半年延期しなければならなかったからです。悩んだ結果、せっかく心理学を学んだのだから心理学実験をやってみたいと思い、卒業研究に取り組みました。卒業研究で大変だったのは、自分でいくつもの先行研究を読んで自分のやりたい実験テーマを探すという作業です。先行研究をほとんど目にすることがなかったため、読んでいて頭が痛くなりそうでした。また、統計も意味が解らず携帯や書籍で何度も調べました。実験のテーマを考え、材料を揃えたりするのは大変でしたが、塾の生徒に協力してもらって行った実験は楽しく新たな発見もありました。卒業研究は、簡単ではありませんでしたが、貴重な経験だったと思います。

5. さいごに

特に、1年入学した方は、4年間はとても長く、先が見えずに挫折しそうになる時もあるかもしれません。そんな時は、ウォーキングで気分転換しながら、なぜ大学に入学したのかを思い出してみてください。私も何度も挫折しそうになりましたがウォーキングをすることで、頭の中がリセットされやる気が湧いてきました。また、余裕がある方はスクーリングに行

かれることをお勧めします。初対面だと話しかけづらいこともあると思いますが勇気をもって話しかけてみてください。私は、あまりスクーリングには行けなかったため、孤独との戦いになってしまったのかもしれませんが。卒業した先には何にも代えがたい達成感が待っています。自分に負けずに卒業を目指して頑張ってください。

